

もしも災害が起きたらQ&A



広報とやま 2月5日号で大地震の特集を掲載したところ、多くの感想・意見をいただきました。また、いただいた主な質問について、防災危機管理課職員がお答えします。

Q1. 災害が起きたら、どこに避難すればいいですか？

- A. 災害の危険から身を守るために、市の指定緊急避難場所（以下：避難場所）や、地域であらかじめ定められた場所（公園や公民館など）、安全な親戚・知人宅などに避難してください。

Q2. 災害時は、どの避難所がいつ開設されますか？

- A. 避難所（市指定避難所）とは、災害により自宅に居住できないため避難した被災者などが一定期間滞在するための施設です。開設する際は、次の表のとおり、優先順位を踏まえて開設します。

避難所区分	内容
第1次避難所	災害発生時に、最初に開設します。主に 小学校体育館 を指定しています。
第2次避難所	第1次避難所が満員になった場合などに開設します。主に 中学校体育館 を指定しています。
第3次避難所	第1・2次避難所が満員になった場合などに開設します。主に 高等学校体育館 などを指定しています。
その他避難所	第1～3次避難所を補うために、災害の大きさによって、 必要に応じて 開設します。

※避難所は、避難場所としても指定しています（一部施設を除く）。

※市が開設した避難所については、市ホームページや富山市の公式LINE、Xなどで情報発信します。

Q3. 避難所の鍵は誰が開けるのでしょうか？

- A. 原則、**市職員（避難所担当職員）**が開錠します。避難所の開設にあたり、特に地震の際には二次被害を防止するため、避難所となる建物が安全であるか、危険な所が無いかなど安全確認を市職員が行ったのちに、避難者の受け入れを行うことになります。安全の確認が終わるまで、校庭や体育館前などで待機しましょう。

Q4. 住民全員が避難所に入れるのでしょうか？

- A. 避難所は、**住民全員が避難することは想定していません**。Q2の回答のとおり、災害により建物の倒壊や焼失などがあって自宅に居住できないため避難をしてきた被災者などが一定期間滞在することを想定しています。

Q5. 避難所に行けば食料などをもらえますか？

- A. 避難が必要な方の食料などについては、備蓄倉庫などに分散備蓄をしています。**備蓄してある食料は、家屋が倒壊・焼失・流出してしまって自宅に備蓄していた食料を持ち出せなかった人の分の数量を想定しています**。市民全員分の備蓄はありませんので、最低3日から1週間分の食料の用意をお願いします。

Q6. 自宅（木造住宅）の耐震診断はどこでできますか？

- A. (一社)富山県建築士事務所協会（☎442-1135）に連絡するか、申込書をFAXか郵送で提出してください。

※申し込みが集中しているため、4月中旬以降の案内になります（2月末現在）。

※昭和56年以前に着工された木造住宅が対象です。



申込書はこちらから

Q7. 地震に備えて自宅を改修したいです。市の補助はありますか？

- A. 木造住宅耐震改修等支援事業（建築指導課 ☎443-2107）、耐震改修に伴う減税制度（資産税課 ☎443-2034）を実施しています。詳細は市ホームページ（No1006439、No1003449）をご覧ください。

Q8. 防災行政無線で放送された情報を確認する方法はありますか？

- A. 24時間自動応答のテレホンサービス（☎433-5090）で、放送内容を確認できます。

ハザードマップで避難の準備

本市には、**津波・洪水・土砂災害・内水・ため池ハザードマップ**、**地震防災マップ**があります。災害種別によって対象地域は異なります。自宅や職場がどの災害に襲われる危険があるか、各マップで確認しましょう。マップは防災危機管理課(市役所4階)にある^(※)ほか、市ホームページ(No.1011986)からもダウンロードできます。(※)ため池は市ホームページのみ。

ハザードマップ一覧

二次元コードから市ホームページの各マップのページにアクセスできます。

津波ハザードマップ

津波が発生した場合の浸水状況や避難先などを確認できます。

**【対象地域】倉垣・四方・八幡・草島・岩瀬・萩浦・豊田・奥田北・大広田、
浜黒崎・水橋西部・三郷・水橋中部**

最大クラスの津波を想定して作成しています。自宅や職場付近の津波による影響を確認しましょう。

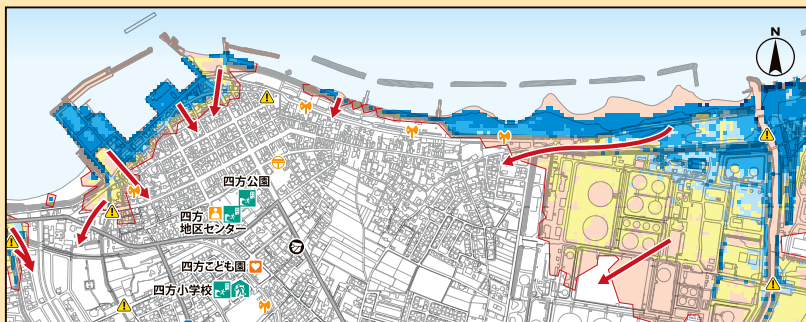


No.1007932

津波ハザードマップの見方

避難対象地域外(色の塗られていない地域)へ、赤い矢印の方向に避難します。
※さらに不安を感じる場合は、海や川からより離れた避難場所に避難します。
逃げ遅れて緊急的に避難する場合は、自宅の2階以上や近隣の高い建物へ避難してください。

四方・八幡地区の津波ハザードマップ(一部)



凡例 (マップより一部抜粋)

- 津波の指定緊急避難場所
 - 地震・大規模火災時緊急避難場所
 - 市指定避難所
 - 避難対象地域
 - 危険箇所
 - 避難方向
- 最大浸水深 (法に基づく)
- 3.0m以上
 - 1.0~3.0m
 - 0.5~1.0m
 - 0.3~0.5m
 - 0.3m未満

地震防災マップ

地震防災マップの中には、ゆれやすさマップや地域の建物危険度マップ、液状化マップなどが掲載されています。



No.1009827

市内の活断層である呉羽山断層帯における30年以内の地震発生確率は、最大で5%であり、国内の主な活断層の中では、高い可能性で地震が発生するとされています。

断層全体が活動すると、マグニチュード7.2規模の地震が発生し、能登半島地震と同程度の震度7の揺れが予想されます。



ゆれやすさマップ

呉羽山断層による地震を想定した予測震度分布

震度と予想される現象

木造住宅の耐震診断や耐震改修に関する支援制度

地震から身を守る方法

災害対策特集は、4・5ページに続きます。

▶ みんなで災害対策！特集 ハザードマップで避難の準備

📍 土砂災害ハザードマップ

土砂災害の被害を受けるおそれのある地域や避難場所を掲載しています。

【対象地域】 婦中、山田、富山(八幡、長岡、桜谷、呉羽、五福、古沢、池多)、大沢野、大山、八尾、細入



No.1011976

📍 洪水ハザードマップ

指定河川の水があふれた場合や堤防が決壊した場合の浸水の可能性などを掲載しています。

【対象地域】 市内全域(地域の情報を区域ごとにまとめています)



No.1010657

指定河川から遠くても、内水やため池による被災が考えられます。

「内水ハザードマップ(No.1011974)」、「ため池ハザードマップ(No.1011987)」もご覧ください。

▶ みんなで災害対策！特集

顔の見える関係を 災害協定締結団体と意見交換

2月16日に富山県防災危機管理センターで、市が災害時協定を締結する40の企業や団体と市担当者による意見交換会を初めて開催しました。

防災意見交換会の目的は、協定締結団体と市との「顔の見える関係」を築き、市として企業や団体の皆さんの応援を受ける力(受援力)を高めることです。

食料・生活必需品の提供、情報・通信の支援活動、医療救護活動、公共土木施設等の応急復旧活動などのジャンルに分かれて、災害時における具体的な支援内容や手順について活発な議論が行われました。



参加団体の声

- ・市担当者と直接顔を合わせて話し合いができてよかった。
- ・災害時にどのような協力を求められ、いかに支援できるかなど、具体的な意見交換ができた。
- ・今後も継続して開催してもらいたい。 など



市職員の声

- ・関係性を築ける良い機会となり、協定内容の再確認や、災害時における連携手順について意見交換ができて、大変有意義だった。
- ・支援の申し出があったときに躊躇なく受け入れられる関係を日頃から築く重要性を感じた。 など



今後も引き続き市民の安全安心のため、協定締結団体との連携・協力体制を築き、本市の災害対応力を高めてまいります。

災害対策特集(2～5ページ)についての問い合わせ先▶ 防災危機管理課 ☎443-2181

避難のための備えチェックリスト 保存版

※内容は一例です。



非常用持ち出し品

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 飲料水(500ml×2・3本) | | <input type="checkbox"/> 防犯ブザーやホイッスル |
| <input type="checkbox"/> 食料
(レトルト食品やお菓子、乾パンなど
そのまま食べられるもの1・2食) | | <input type="checkbox"/> 貴重品
(通帳、現金、運転免許証、マイナンバーカード、パスポート、病院の診察券など) |
| <input type="checkbox"/> 衣類や下着 | | <input type="checkbox"/> 洗面用具(マウスウォッシュなど) |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 | | <input type="checkbox"/> 常備薬(処方箋・お薬手帳など) |
| <input type="checkbox"/> 雨具 | | <input type="checkbox"/> ティッシュやウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 簡易トイレ | | <input type="checkbox"/> 救急セット |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯(手動充電式が便利) | | <input type="checkbox"/> タオル |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(手動充電式が便利) | | <input type="checkbox"/> マスク |



子どもがいる家庭の備え

- | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 粉ミルク・離乳食 | <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー | <input type="checkbox"/> 抱っこひも |
| <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 | <input type="checkbox"/> 紙おむつ・おしりふき | <input type="checkbox"/> ネックライト |

女性の備え

- | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 生理用品
(ナプキンやサニタリーショーツなど) | <input type="checkbox"/> 中が見えない色のポリ袋 | <input type="checkbox"/> ドライシャンプー |
|---|--------------------------------------|-----------------------------------|

高齢者がいる家庭の備え

- | | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> おかゆなどやわらかい食品 | <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ | <input type="checkbox"/> 杖・入れ歯・補聴器などの補助具
(洗浄液や充電器も) |
|---------------------------------------|----------------------------------|--|

備蓄品 (家に備えておくもの)

備蓄の目安は、最低3日分～1週間分が望ましいとされています。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3ℓ) | <input type="checkbox"/> 給水用ポリタンク |
| <input type="checkbox"/> 食料
(保存期間が長いものを多めに買って置き、消費したら補充する習慣にしていれば、常に備蓄ができます) | <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂の残り湯など) |
| <input type="checkbox"/> カセットコンロ・ボンベ | <input type="checkbox"/> 眼鏡やコンタクトレンズ(洗浄液も) |
| <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ・割り箸など | <input type="checkbox"/> 救急箱(消毒液や体温計) |
| <input type="checkbox"/> ラップ | <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー・ケーブル |
| <input type="checkbox"/> トイレットペーパー | <input type="checkbox"/> ごみ袋・ポリ袋 |
| <input type="checkbox"/> 簡易トイレ(1人1日5回) | <input type="checkbox"/> 乾電池 |
| | <input type="checkbox"/> 長靴 |



備蓄品以外にも、障害者手帳や車いす、コミュニケーションの手段になるもの、ペット用の防災用品など、それぞれが必要なものを確認し、備えておきましょう。